

2025年4月開校 **明和高等学校附属中学校**
児童・保護者説明会

普通コース



愛知県教育委員会 あいちの学び推進課 中高一貫教育室

説明会に関わるお願い



以下の3点について、入場時に配布したプリントのQRコードを読み取り、ご確認、ご協力をお願いいたします。

- 1 本日の説明資料
- 2 説明会終了後のアンケート
- 3 質問(Q & Aを作成し、後日、県教育委員会HPに掲載)

説明会の流れ



- 1 導入校(明和高校)の校長挨拶
どうにゆう あいさつ
- 2 中高一貫教育制度の実施形態及び第一次導入校の紹介
けいたい
- 3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい
- 4 明和高等学校・附属中学校の概要 ふぞく がいよう 普通コース
- 5 入学者選抜方法
- 6 質疑応答、諸連絡

説明会の流れ



- 1 導入校(明和高校)の校長挨拶
- 2 中高一貫教育制度の実施形態及び第一次導入校の紹介
- 3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい
- 4 明和高等学校・附属中学校の概要 普通コース
- 5 入学者選抜方法
- 6 質疑応答、諸連絡

導入校(明和高等学校)校長挨拶



～未来に羽ばたく明和生に進むべき道を指し示す^{らしんばん}羅針盤～

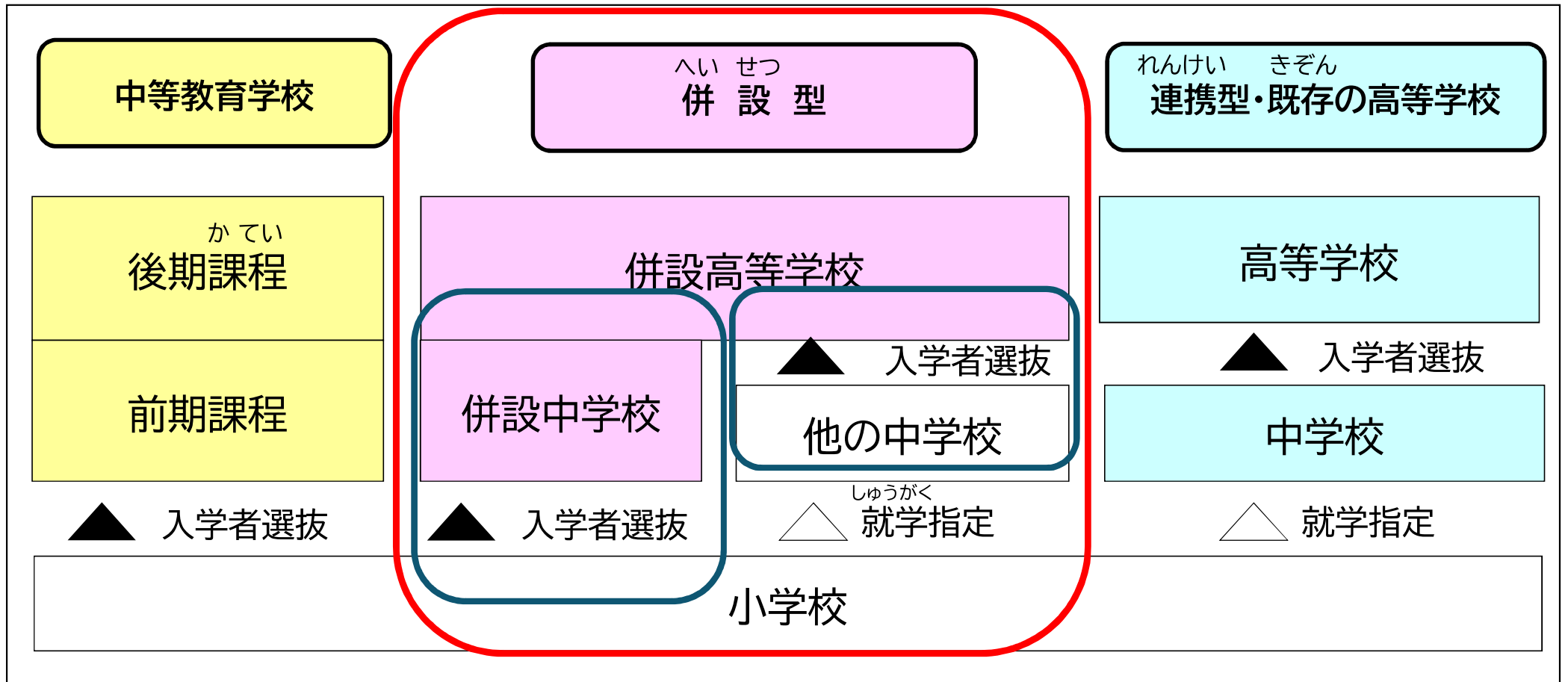
説明会の流れ



- 1 導入校(明和高校)の校長挨拶
- 2 中高一貫教育制度の実施形態及び第一次導入校の紹介
- 3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい
- 4 明和高等学校・附属中学校の概要 普通コース
- 5 入学者選抜方法
- 6 質疑応答、諸連絡

2 中高一貫教育制度の実施形態及び第一次導入校

(1) 中高一貫教育制度の実施形態



2 中高一貫教育制度の実施形態及び第一次導入校

(2) 第一次導入校 2025年4月(令和7年度)開校

地 区	学校名 (所在地)	1学年学級数・生徒数	
		中学校	高校(現在)
名古屋	明和高等学校・ 附属中学校 (名古屋市東区)	普通コース 2学級80人	普通科 8学級320人
		音楽コース 1学級20人	音楽科 1学級40人
知 多	半田高等学校・ 附属中学校 (半田市)	普通コース 2学級80人	普通科 8学級320人
西三河	刈谷高等学校・ 附属中学校 (刈谷市)	普通コース 2学級80人	普通科 10学級400人
あ ま 海 部	津島高等学校・ 附属中学校 (津島市)	国際探究コース 2学級80人	普通科 9学級360人

3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい

(3)中高一貫教育の導入のねらい

「チェンジ・メーカー」の育成

「チェンジ・メーカー」

社会が加速度的に変化し続け、将来の予測が極めて^{きわ}難しい時代において、
様々な人と協働しながら、答えのない課題に対して、
失敗を恐れずにチャレンジし、社会に変化を起こす人

3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい

(4) 探究学習を重視するねらい

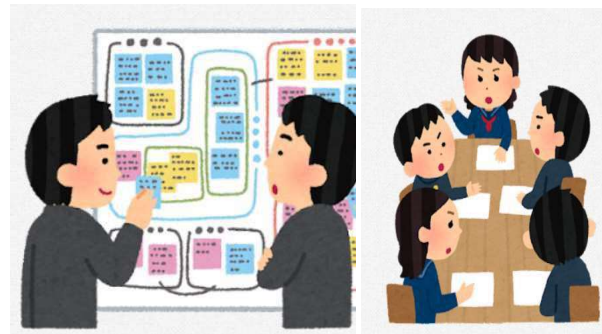
【探究学習とは】

① 課題の設定

② 情報の収集

③ 整理・分析

④ まとめ・表現



体験活動などを通して、
課題を設定し
課題意識をもつ。

必要な情報を、
取り出したり
収集したりする。

収集した情報を、
整理したり分析したりして
思考する。

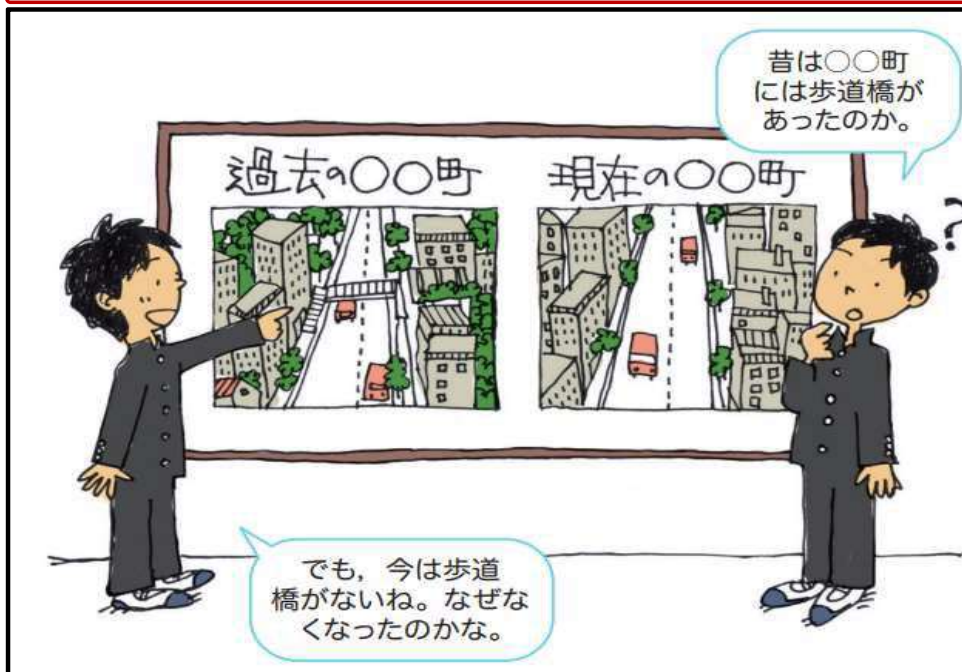
気づきや発見、
自分の考えなどをまとめ、
判断し、表現する。

3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい

(4) 探究学習を重視するねらい

【探究学習の例】

「昔は、歩道橋があったのに、
なぜなくなったのだろうか？」



①課題の設定

- ・ 調べること、考えることを決める

②情報の収集

- ・ インターネット、電話、インタビュー、現地調査などで、情報を収集する

③整理・分析

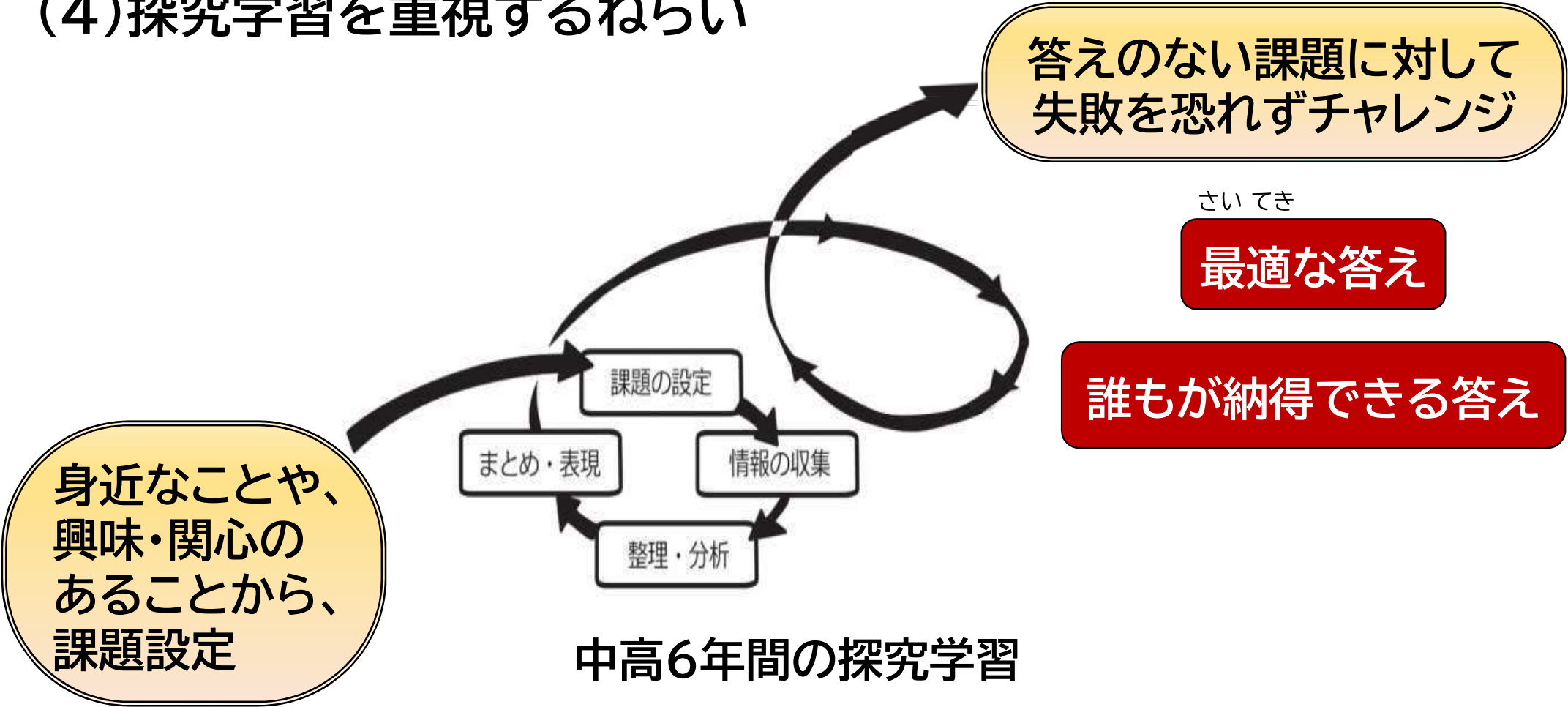
- ・ 結論に向けて、考えを整理する
- ・ 高度な内容にも触れながら分析する

④まとめ・表現

- ・ 分かりやすくまとめ、発表する
- ・ 高校では、論文形式にまとめる

3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい

(4) 探究学習を重視するねらい



3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい

(4) 探究学習を重視するねらい

○探究学習を重視した、
中高6年間のゆとりあるカリキュラムを編成

○より良い答えを探すため、異なる立場の人と
多様な角度から話し合い、互いの良さを生かしながら
粘り強く課題解決に取り組むことが可能

○より良い社会を実現しようとする力を育て、
チェンジ・メーカーの育成につなげていく

3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい

(5) 中高6年間で伸ばしたい力

- 答えのない課題に向き合うためには、
自分が疑問に思ったことに対して、問いを立て、考え続けることが大切。
- 身に付けた知識や技能、思考力等を生かして、
さらなる疑問に対して、再び問いを立て、考え続けることが大切。
- その過程を繰り返していくことが、より良い答えを見出すことにつながる。



① 答えのない課題に対して、問いを立て続けることができる力

3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい

(5) 中高6年間で伸ばしたい力

○より良い社会を実現していくためには、
様々な人が、知識や経験、価値観、個性を持ち寄りながら、
協働して取り組んでいくことが大切。



② 多様性を尊重し、互いの良さを生かすことができる力

3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい

(5) 中高6年間で伸ばしたい力

○将来の予測が難しい社会の中では、
答えのない困難な課題が待ち受けており、
そうした課題に主体的に向き合い、失敗を恐れず、
積極的にチャレンジし、粘り強^{ねば}く取組むことが大切。



③ 積極的にチャレンジし、粘り強^{ねば}く取組むことができる力

3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい

(6) 中高6年間を通して育てたい人間像

① 答えのない課題に対して、
問いを立て続けることができる人

② 多様性を尊重し、
互いの良さを生かすことができる人

③ 積極的にチャレンジし、
粘り強く取り組むことができる人

3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい

(7)「中高6年間で伸ばしたい力」を育む取組例(イメージ)

追究

- ・授業の中で生まれた疑問に対して、時間をかけて、しっかり追究できるようにする。

体験活動

- ・大学や企業、研究所との連携を通して、外部の様々な取組に触れる。

ディベート プレゼンテーション

- ・自分の考えを分かりやすく伝えたり、立場の異なる人の意見を聞いたり、多様な角度から話し合ったりする。

フィールドワーク

- ・現地に足を運び、様々な人の話を聞くなどして、自分の考えを確認する。

計画・実行

- ・学校行事や生徒会活動において、生徒主体でより良い企画となるように取り組む。

説明会の流れ



- 1 導入校(明和高校)の校長挨拶
- 2 中高一貫教育制度の実施形態及び第一次導入校の紹介
- 3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい
- 4 明和高等学校・附属中学校の概要 普通コース
- 5 入学者選抜方法
- 6 質疑応答、諸連絡



なぜ？どうして？
そうなんだ。だから、〇〇なんだ。
本当かな。この場合は？

話したい。聞きたい。
知りたい。やってみたい。
どうすればいい？

明和附属中学校では、
みなさんの〇〇したいという思いを大切にし、
みなさんが、
ドキドキ ワクワクする探究学習ができる学校を目指します



何という植物？

花は
さくのかな？

薬草？
食べられる？



葉は何枚？



どこで育つの？

どんな香りが
する？





? と思うことが

探究学習の入り口です！

本当？
この場合は？



なぜ？
どうして？



今、これから…



何が起こる？

何が進化する？

何が生まれる？

何が問題？



どんな力が必要？

どう生きる？

文理や学科を越えた学び、世の中の成り立ちを分かるように学ぶことが求められる…

そこで…

リベラルアーツ！！





(1) 中高6年間の教育理念

☆ 中高6年間でのゆとりある学び

☆ リベラルアーツを軸とする文理融合の探究的な学び



幅広い教養と豊かな感性を備え、多様な他者と協働し
新たな価値や目的を創造できる人の育成



リベラルアーツで身に付く力

問い続ける力「なぜ？どうして？」

問題を多面的に考察する力「他の見方は？」

ものの見方「本当？こんな考え方は？」

(^{ひはん}批判的思考力、あらゆる分野ををつなげて考える力など)

⇒ **物事を考える土台を築く**

6年間を見通した連続的な教育課程の編成





(2) 中学校で育てたい人間像

- さまざまなことに興味をもって、主体的に学び、
多くのことを吸収きゅうしゅうできる人
- さまざまな人の考えを聴きき、共感し、
新しい考えを生み出し、仲間とともに成長できる人
- さまざまなことに挑ちょうせん戦し、自分の価値や目的を創造そうぞう
するなど、自分自身を磨みがくことができる人



○小学校と中学校の^{ちが}違い



小学校 1つの授業時間45分

教科	国語	社会	算数	理科	音楽	図画 工作	家庭	体育	特別の 教科 道徳	特別 活動	総合的 な学習 の時間	外国語
----	----	----	----	----	----	----------	----	----	-----------------	----------	-------------------	-----

中学校 1つの授業時間50分

教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 ・ 家庭	外国語	特別の 教科 である 道徳	総合的 な学習 の時間	特別 活動
----	----	----	----	----	----	----	----------	---------------	-----	------------------------	-------------------	----------



教育課程表 【標準授業時数 週29時間】



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1年	国語 4				社会 3			数学 4				理科 3			音楽 1.3	美術 1.3	保健体育 3			技術・家庭 2		外国語 4				道徳 1	特活 1	総合 1.4	
2年	国語 4				社会 3			数学 3			理科 4				音楽 1	美術 1	保健体育 3			技術・家庭 2		外国語 4				道徳 1	特活 1	総合 2	
3年	国語 3			社会 4				数学 4				理科 4				音楽 1	美術 1	保健体育 3			技術・家庭 1		外国語 4				道徳 1	特活 1	総合 2

教育課程表【明和附属中学校 普通コース 週30時間】



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語 4				社会 3			数学 4				理科 3		音楽 1.5 (+0.2)	美術 1.5 (+0.2)	保健体育 3			技術・家庭 2		外国語 4				道徳 1	特活 1	総合 2 (+0.6)			
2年	国語 4				社会 3			数学 4 (+1)				理科 4		音楽 1	美術 1	保健体育 3			技術・家庭 2		外国語 4				道徳 1	特活 1	総合 2			
3年	国語 3			社会 4				数学 4				理科 5 (+1)			音楽 1	美術 1	保健体育 3		技術・家庭 1	外国語 4				道徳 1	特活 1	総合 2				

※ () 内の数字は、標準時数よりも増加した週当たりの授業時数を示す。



(3)教育課程

○リベラルアーツの視点から、知識だけでなく、
芸術分野など総合的な学びの中で、
豊かな感性と人間性を高める



○高等学校の学びにつながる理数分野の深い学びと、
高等学校の学習活動を生かした、高度な実験・実習
を体験できるようにする

※「探究に必要な高度な学び」も行う





(4)教育活動

○ホームルーム（朝・帰りの会、給食、授業などを行う教室のこと）
普通コース・音楽コースを分けます。

① 教科学習

- ・ 課題解決型学習を行い、
身近な生活や社会とのつながりをもつ意識を高める
- ・ 体験的学習、実験や実習などから、
興味関心、学習意欲を高める





(4) 教育活動

① 教科学習



「対話」を重視した授業を展開

人とのコミュニケーションの中で、
自分の考えを伝え、相手の考えを聴き、
新たな考えを生み出すなど

将来に生きる「スピーチ力、合意形成を^{はか}る力、
プレゼンテーション能力」を育成





(4)教育活動

① 教科学習



数学や外国語での少人数指導を導入

グループ活動、自己表現の場を増やし、
数学的な見方・考え方や、英語による
コミュニケーション能力の定着・向上を目指す





(4) 教育活動

② 総合的な学習の時間

- ・ 全学年 週2時間
- ・ 生徒の興味関心にそった探究的な学び
- ・ 個人追究、協働の場
- ・ 高校生や音楽コースとの交流も想定

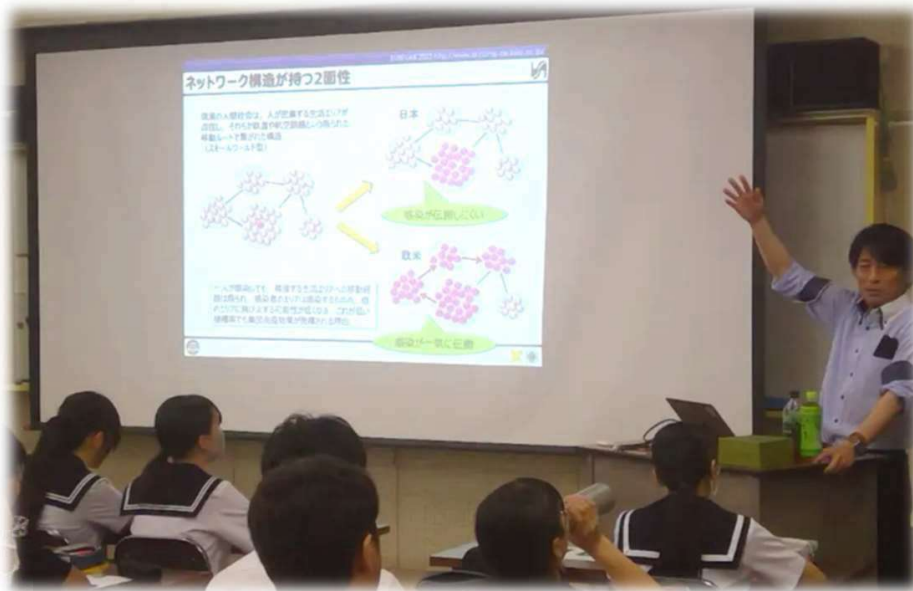
主体的に課題を発見、探究する力
じっくりと課題に向き合う姿勢
多様な考え方に共感できる姿勢



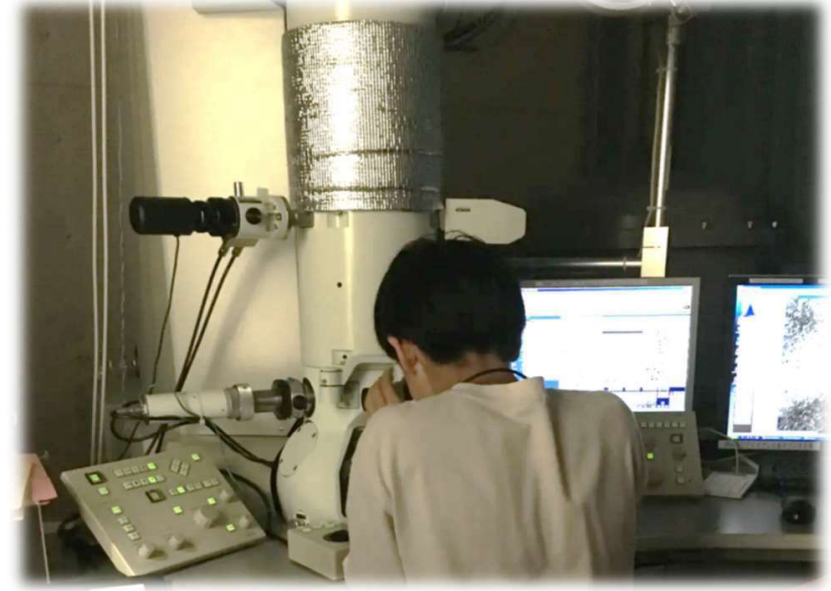


○現在の高等学校での取組

【数学 夏の学校】



【大学研究室訪問】



探究に必要な『探究心』をふく膨らませる



○現在の高等学校での取組

【グローバルサイエンス交流会】



きょうそう
国際共創力を高める



小林 誠 博士

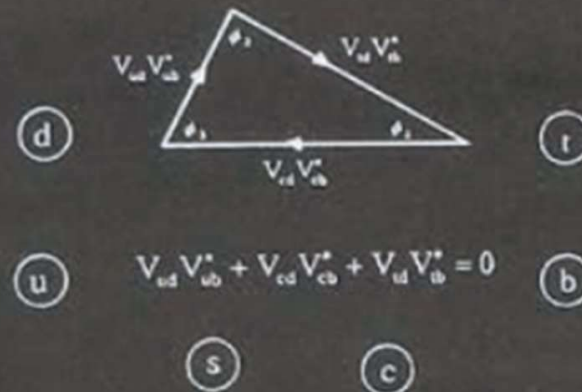
1963年、昭和38年明和高校卒業

ノーベル賞受賞記念碑

2008年12月10日受賞

"for the discovery of the origin of the broken symmetry which predicts the existence of at least three families of quarks in nature"

CP-Violation in the Renormalizable Theory of Weak Interaction





(4) 教育活動

③ 特別活動

海外の人(海外で活躍^{かつやく}する日本人を含む)
異年齢^{いねんれい}の人などとの出会い、多様な言語・
文学・音楽・哲学^{てつがく}との出会いを通して、
驚き^{おどろ}や発見の経験を経て、
自己の価値観^{かち}を育成する





○高校生と交流

高校生の姿に^{あこが}憧れ、
自分の将来を想像し、
自分を高めるために
何をすればよいか考える

いろいろなこと
を知っている

行動力がある

^{けんめい}
一生懸命
がんばっ
ている

楽しそう





みが
感性を磨き、教養を深め人間性を高める



(4)教育活動

④ その他

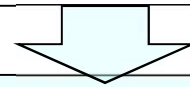
- ・ 学びを振り返る時間
学びを活用できるようにする時間
- ・ 主体的に自由に探究できる時間
- ・ 音楽科・音楽コースとの交流・れんけい連携





(5) 中高一貫教育導入に伴う高校3年間の学びの在り方

明和附属中学校普通コースでの学び
探究学習で身に付けた**思考力・判断力・表現力**



- 明和附属中学校と高等学校で学びが途切れることなく、自分が興味関心をもったことを**継続**して追究できる
- 明和附属中学校での学びが高等学校で生き、より深い学びができる





(6)卒業後…

- ・地球規模^{きぼ}で思考し、
実利に留まらない深い教養、
先を見通す力、広い視野をもち、

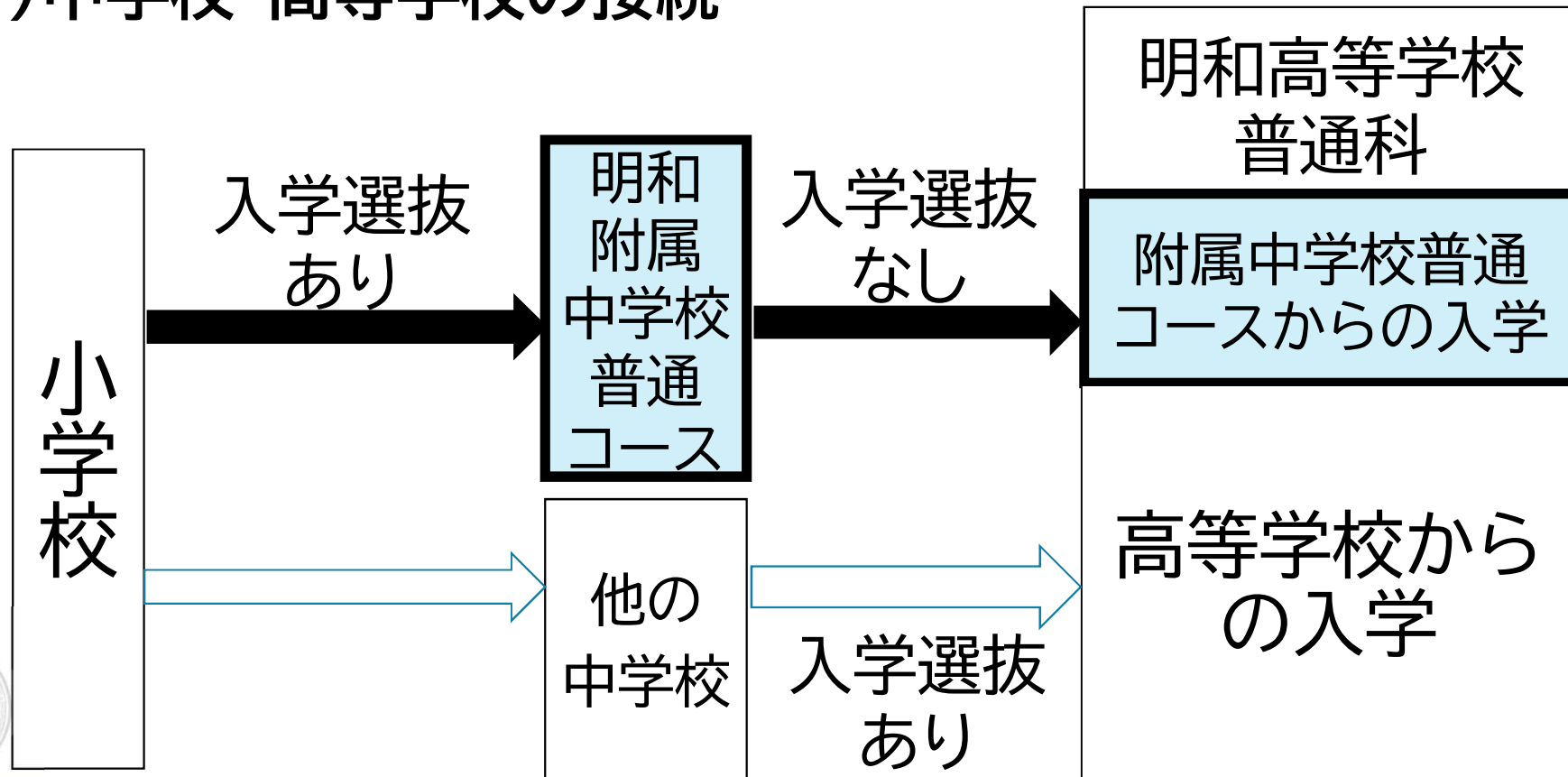
新しい世界^{ひら}を切り拓いていく

- ・問い続ける力
- ・多様性
- ・協働
- ・挑戦^{ちょうせん}
- ・粘り強い精神力^{ねば}…





(7) 中学校・高等学校の接続



(8)通学について

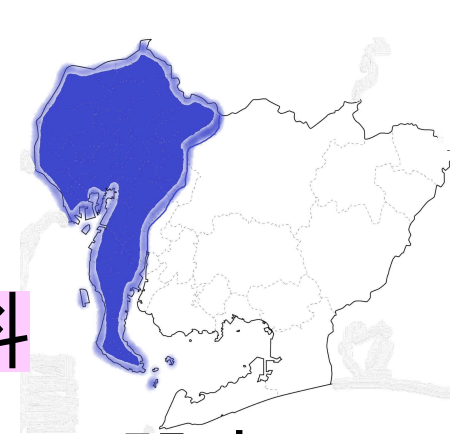
①通学区域^{くいき}

- ・内部進学する明和高等学校の普通科

愛知県立高等学校の通学区域に準じて設定

・尾張学区

- ※ 名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、





(8)通学について



②通学方法

- ・ 公共交通機関(電車、バス)
- ・ 自転車(学校から自宅までの距離きょりによる制限はなし)

など

※お子様が遠方から登下校すること
公共交通機関を利用することなど
発達段階や安全面などを十分ご考慮ください



(9)日課表 (イメージ)	附属中学校		高等学校
	【普通コース】 週5日6時間	【音楽コース】 週3日6時間 週2日7時間	【普通科】 週2日6時間 週3日7時間
8 : 20 ~ 8 : 30	S・T(朝の会)	S・T(朝の会)	S・T(朝の会)
8 : 30 ~ 9 : 20	第1時限	第1時限	第1時限
9 : 30 ~ 10 : 20	第2時限	第2時限	第2時限
10 : 30 ~ 11 : 20	第3時限	第3時限	第3時限
11 : 30 ~ 12 : 20	第4時限	第4時限	第4時限
12 : 20 ~ 13 : 10	給食・昼休み	給食・昼休み	昼休み
13 : 10 ~ 14 : 00	第5時限	第5時限	第5時限
14 : 10 ~ 15 : 00	第6時限	第6時限	第6時限
15 : 00 ~ 15 : 10	S・T(帰りの会)/清掃	S・T(帰りの会)/清掃	S・T(帰りの会)/清掃
15 : 10 ~ 16 : 00		第7時限	第7時限



(10)給食 民間給食業者からの配送

(11)部活動 来年度の学校説明会にて紹介^{しょうかい}

(12)学校教育に係る経費の見込み

- ・ 明和附属中学校の入学金、授業料、教科書代→無償^{むしょう}
- ・ 制服代、給食費、教材費、宿泊行事積立金 等

→保護者負担^{ふたん}



(13)制服 高等学校採用のブレザー・スラックス・スカート



^{けいしょう}
伝統の継承として、黒のライン
(ブレザーのポケット部分)

^{ひやく}
未来への飛躍として、
明和コンパスの針と同じ色のライン
(ブレザーの袖) が入る予定

～未来に羽ばたく明和生に進むべき道を指し示す羅針盤～
^{らしんばん}

(14) 施設計画紹介

※施設計画は、現時点での計画となるため、
変更となる可能性があります。



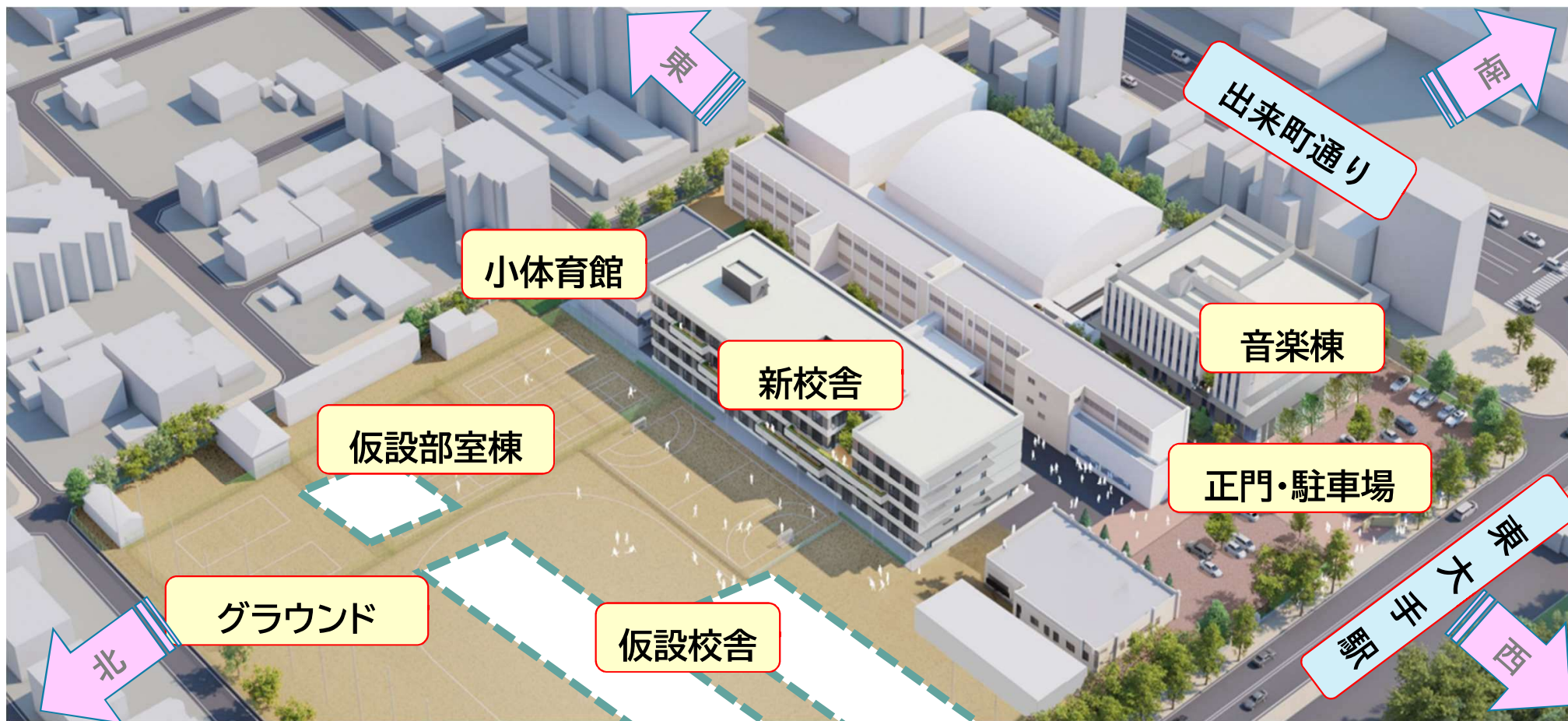
新校舎 イメージ 2027年4月共用開始(予定)



音楽棟 イメージ

2026年6月共用開始(予定)

施設配置





入学後**約2年間**は**仮設校舎**になります



仮設校舎 外観イメージ



仮設校舎イメージ (教室・昇降口)



仮設校舎イメージ (トイレ、手洗い場)



新校舎 外観イメージ 4階建て(2027年3月頃完成予定)



新校舎 内観イメージ 3階 理科系フロア



説明会の流れ



- 1 導入校(明和高校)の校長挨拶
- 2 中高一貫教育制度の実施形態及び第一次導入校の紹介
- 3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい
- 4 明和高等学校・附属中学校の概要 普通コース
- 5 入学者選抜方法
- 6 質疑応答、諸連絡

愛知県立附属中学校 入学者選抜について (2025年度)

第一次導入校（探究学習重視型）

明和・津島・半田・刈谷

愛知県教育委員会

① 募集人員・出願資格・通学区域

(1) 募集人員

- ・ 各校80人を募集します。男女の区別は設けません。
- ・ 県立附属中学校のうち 1校1コースのみ志願できます。
※例えば、明和中学と半田中学の両方を志願することは、出来ません。

(2) 出願資格

- ・ 保護者ととともに県内に居住している小学校6年生

(3) 通学区域

- ・ 進学先の高校の学科と同じ通学区域になります。

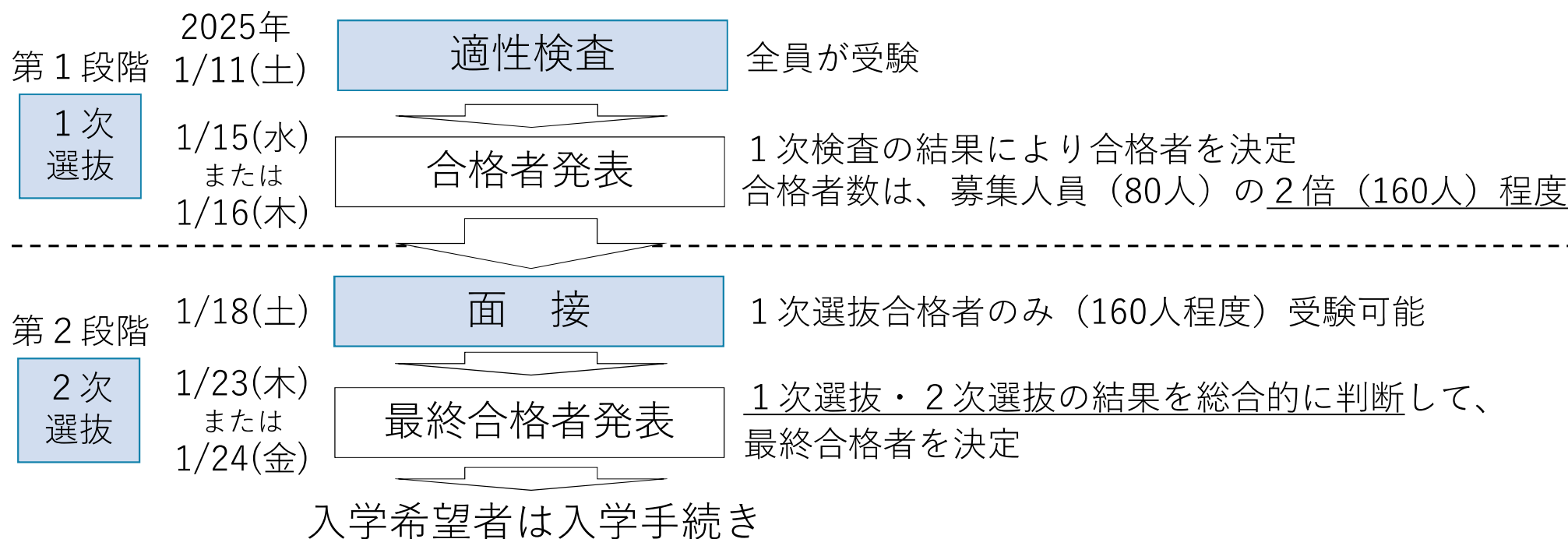
実施校	通学区域	実施校	通学区域
明和高校附属中学校	尾張学区	半田高校附属中学校	尾張学区
津島高校附属中学校	県内全域	刈谷高校附属中学校	三河学区 (※)

※刈谷中学は、刈谷高校と同様、大府市、豊明市、知多郡東浦町に居住する人も、通学可能

② 入学者選抜のイメージ

(1) 2段階選抜の実施

- ・ 1次選抜の適性検査で思考力・判断力・表現力等を測り、受験者数を絞った上で、2次選抜の面接で受験者の資質をしっかりと見ていきます。



③ 1次選抜：適性検査

(1) 実施日

- ・ 2025年1月11日（土）半日程度

(2) 選抜内容 ※囲みが本県の特徴

- ・ 45分×2時限
- ・ 小学校で学習した範囲内で出題します。 ※英語は、出題しません。
- ・ 複数の教科が組み合わされた内容です。 ※教科別の試験ではありません。
- ・ 知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力等を測ります。

- ・ 全問、選択式となります。（マークシートとするかは検討中）

※サンプル問題は、2023年12月頃に公表予定

④ 2次選抜：面接

(1) 実施日

- ・ 2025年1月18日（土）

(2) 選抜内容 ※囲みが本県の特徴

- ・ 志願理由書の内容を踏まえて、受験者の体験を基にやり取りしながら、受験者の資質を見出していく「リフレクション（振り返り）型」により行います。
- ・ 一人一人の資質をしっかりと見るため、1人当たり15分程度の個人面接とします。
- ・ 面接では、次の内容を見ていきます。
 - ① チェンジ・メーカーの育成や探究学習にとって重要な資質
探究心、共感力、寛容性、粘り強さなど
 - ② 導入校の教育方針やカリキュラムへの理解、中高6年間にわたって探究的な学びを続けようとする意欲、志望動機
- ・ 直近の通知表の内容を参考とします。

⑤ 出願～入学手続きまでの流れ

時 期	内 容
2024年 12月上旬～	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出願 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学願書・・・12月上旬～12月中旬までに提出 ・ <u>志願理由書、直近の通知表の写し</u>・・・1次選抜までに提出
2025年 1/11(土)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1次選抜（適性検査）45分×2時限、全問選択式
1/15(水)または 1/16(木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1次選抜合格者の発表 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次選抜の結果により、1次選抜合格者を決定 ・ 合格者数は、募集人員の2倍（160人）程度
1/18(土)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2次選抜（面接）リフレクション型の個人面接（1人当たり15分程度）
1/23(木)または 1/24(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最終合格者の発表 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次選抜・2次選抜の結果を総合的に判断して、最終合格者を決定
1/27(月)～ 1月末頃	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入学手続き <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学希望者は、入学確約書を期限内に提出していただきます。（2日間程度） ・ 入学確約書の提出が無い方は、入学を辞退したものとみなします。 ・ 募集人員に達しない場合は、順次繰り上げにより欠員を補充します。（1月末頃まで） ・ <u>入学手続き後の辞退は、保護者の転勤等やむを得ない場合を除き、原則、認めません。</u>

説明会の流れ



- 1 導入校(明和高校)の校長挨拶
- 2 中高一貫教育制度の実施形態及び第一次導入校の紹介
- 3 愛知県における中高一貫教育の導入のねらい
- 4 明和高等学校・附属中学校の概要 普通コース
- 5 入学者選抜方法
- 6 質疑応答、諸連絡

6 質疑応答、諸連絡



6 質疑応答、諸連絡



○今後の予定

【2023年12月頃】

適性検査サンプル問題を公表

【2024年7・8月頃】

導入校ごとに、学校説明会開催予定



※詳細は、愛知県教育委員会ホームページをご確認ください



愛知県教育委員会 あいちの学び推進課 中高一貫教育室